※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	絵画	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・鉛筆、ペン、色鉛筆、水彩絵の具など、いろいろな画材を使った平面作品の制作をします。

それぞれの画材の特徴を生かした技法を学びながら、観察して正確に描く技術を学ぶ素描（デッサン）や、自分のイメージしたことを表現する想像画に挑戦し、自分らしい表現方法を追求していきます。

・自分の作品について制作意図を他者に伝えること、他者の作品についても理解を深め、その良さを共有し、自分の制作に生かすことができるように「鑑賞」の時間も大切にします。

2　学習の到達目標

絵画に関する学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

・表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

・表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力などを育成する。

※令和 4 年度以降入学生用

【学びに向かう力、人間性等】 ・絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、表現方法を工夫して表している。 ・様々な表現技法についての知識を身につけ、適切に表現に生かすことができている。	・絵画表現の創造的な美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的に発想や構想を練ることで、価値意識をもって美術や美術文化に接し、見方や感じ方を深めている。	・主体的に絵画の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学	単	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法

※令和４年度以降入学生用

期	元名			知（a）	思（b）	主（c）
１学期	絵画基礎	**「オリエンテーション」** 「絵画」の学習イメージをつかむ。 ①　「見ないで描く」 出されたお題について自分の記憶を頼りに描写する。 ②　「サインを考える」 自分の作品に記すサインを考える。	a:(知識・技能) 自らの記憶を手掛かりにして細やかな描写をすることができている。 b:(発想や構想) 目的を考え自分らしさを追求したデザインであり、書きやすさも意識することができている。 c:(表現) 自分の作品についてデザインの意図や表現のこだわりを明確にして主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 完成レポート	活動の様子 ワーシート 学習の記録簿
		「鉛筆の特性・素描」 ①　「鉛筆について」 鉛筆の濃度や硬さなどその特性を理解する。 ②　デッサン 「立方体」「球体」の陰影や素材による表現の違いについて考えながら描写する。	a:(知識) 鉛筆の特性を知り、用途よる鉛筆の使い分け検討することができている。 a:(技能) モチーフの色や質感によって鉛筆を使い分け、素材の違いによるタッチの差や陰影の濃さなどを表現することができている。 b:(発想や構想) モチーフをよく観察し、陰影の位置や画用紙の大きさに対するモチーフの位置など画面構成について意識することができている。 c:(表現) モチーフをよく観察し、積極的に制作に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	活動の様子 ワークシート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

	複数のモチーフを描く	「デッサン・組みモチーフ」 ① モチーフ選び ４点以上のモチーフを選ぶ ② 構図を考える 自分が選んだモチーフを効果的に配置する。 ③ 描写する 絵画基礎で学んだ表現を使ってデッサンする ④ 鑑賞 全員の作品を鑑賞し、一つ一つに自分のコメントを書く。	a:(技能) モチーフの色や質感によって鉛筆を使い分け、素材の違いによるタッチの差や陰影の濃さなどを表現することができている。 b:(発想や構想) 複数のモチーフがそれぞれ画面に効果的に映えるような組み合わせとなっている。 b:(発想や構想) モチーフをよく観察し、陰影の位置や画用紙の大きさに対するモチーフの位置、効果的なモチーフの配置など画面構成について意識することができている。 c:(鑑賞) 他者の作品を鑑賞し、作品のよさや美しさを感じとろうとしている。 c:(鑑賞) 他者の作品と自分の作品を比較し、よりよい表現について考えることができている。	作品 完成レポート	作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	活動の様子 ワークシート 完成レポート 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿
２学期	ペン画「パターンアート」	**「パターンアートについて」** ・パターンアートの特徴や模様について理解する。 **「ペン画」** ① 作品のテーマやモチーフを考える ② 下描き テーマに沿って描く ③ カーボン紙を使って転写 ④ ミリペンを用いて本描き 自分が考えたテーマに沿って模様を描き入れる。 ⑤ 鑑賞 全員の作品を鑑賞し、一つ一つに自分のコメントを書く。	a:(知識・技能) 一つ一つの模様を丁寧に描くことができている。 b:(発想や構想) 自分の中のイメージを広げ、テーマを考えることができている。 b:(発想や構想) パターンアートについて様々な模様があることを理解し、モチーフやテーマに沿ったパターンを検討することができている。 c:(表現) 多種多様な模様を意識し、積極的に制作に取り組もうとしている。	ワークシート アイデア スケッチ 作品 完成レポート	ワークシート アイデア スケッチ 作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	活動の様子 ワークシート 完成 レポート 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

	風景画「校内風景」	**「構図について」** ・構図の違いによる視覚効果について理解する。 **「風景画・校内風景」** ① 校内で描きたいと思った場所をカメラで撮影 ② 撮影した写真を元に描写 ③ 水彩絵の具で描く ④ 鑑賞 全員の作品を鑑賞し、一つ一つに自分のコメントを書く。	a:(知識) 構図の違いによる視覚効果について理解し、被写体に対して適切な構図を選ぶことができる。 a:(技能) 自分の撮影した写真をよく観察し、遠近感による描写の違いや色合い、空気感などを水彩絵の具で表現することができている。 b:(発想や構想) 風景の写真を撮る際、構図を考えながら画面を切り取ることができている。 b:(発想や構想) 写真の中の風景をよく観察し、モチーフにできる陰影や効果的な配色を考えることができている。 c:(表現) 写真に写った風景のモチーフや色合いをよく観察し、積極的に制作に取り組もうとしている。	ワークシート 写真 作品 完成レポート	ワークシート 写真 作品 完成レポート	活動の様子 ワークシート 完成レポート 学習の記録簿
３学期	自由制作	**「自由制作」** ① 作品のテーマ決め 今まで学んできたことを元に作品のテーマを考える。 ② 下描き テーマを元に下描きをする。 ③ 本描き テーマに合った画材を用いて描写する。	a:(知識・技能) 自分の考えた作品テーマのイメージを十分に広げ、様々な画材や表現方法を用いて描写することができている。 b:(発想や構想) 自分のイメージを十分に広げ、自分らしさを追求したデザインやテーマを考えることができている。 c:(表現) 自分の考えたテーマと真摯に向き合い、積極的に制作に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 作品 完成レポート	アイデアスケッチ 作品 完成レポート	活動の様子 ワークシート 完成レポート 学習の記録簿

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度